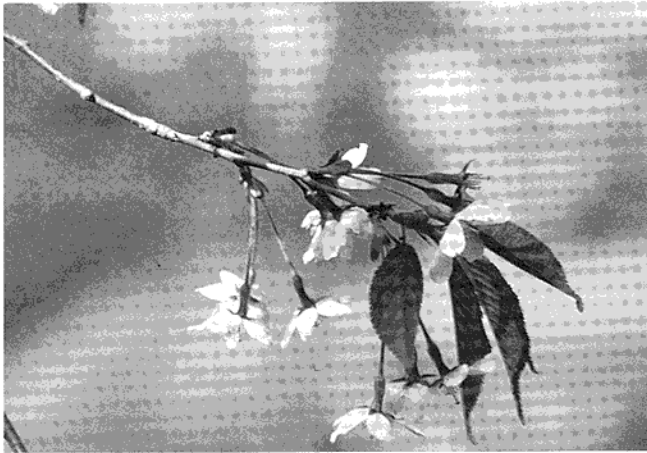


日光生まれの植物たち (三)



オグラヤマザクラ (小倉山桜)

オグラヤマザクラはエドヒガンザクラとチヨウジザクラとの自然交雑種で一九六六年に小倉山山荘の主人、植木方平氏が近くの所有林の中で花をつけていた桜を採取、桜博士として知られる久保田秀夫博士によって新種であることが確認されて和名を小倉山ザクラ、学名の中に初採取者であり自生地の所有者でもある植木氏の名が献じられております。

この桜が見つかり発表された時は日本に一本しかない桜と新聞報道されたほど珍しい新種なので、何らかの保護が必要でしょう。

ナルサワザクラはヤマザクラとチヨウジザクラとの自然交雑種の桜で日光市山内に住んでいた梁島嘉弘氏によって採取されたものが久保田博士によって新しい種類であることが確認されて、和名は鳴沢ザクラ、学名には発見者であり、山草愛好家でもあった梁島氏の名が記念してつけられています。

この二つの桜の名は共に日光の小倉山、鳴沢の地名からつけられたものですが、その経緯に於いてこれを見つけた人もそれを新しい種類であることを確認して、和名、学名を命名した後に学会に発表した人も日光在住であり、真に日光に生まれるべくして生まれたものといえます。

オグラヤマザクラはエドヒガンザクラとチヨウジザクラとの自然交雑種で一九六六年に小倉山山荘の主人、植木方平氏が近くの所有林の中で花をつけていた桜を採取、桜博士として知られる久保田秀夫博士によって新種であることが確認されて和名を小倉山ザクラ、学名の中に初採取者であり自生地の所有者でもある植木氏の名が献じられております。

この桜が見つかり発表された時は日本に一本しかない桜と新聞報道されたほど珍しい新種なので、何らかの保護が必要でしょう。

7月から水道料金が
変わります

7月1日から水道料金の従量料金が変わります。
従量料金とは、使用水量に応じて支払う料金です。
◎メーターの口径25mmまで=1㎡につき76円 (現在70円)
◎メーターの口径30mm以上=1㎡につき98円 (現在90円)

新水道料金表

種別	メーターの口径 (mm)	基本料金		従量料金 (1㎡につき円)
		水量 (㎡)	金額 (円)	
一般用水	13	8	520	76
	20	8	740	76
	25	8	1,300	76
	30	—	2,200	98
	40	—	3,300	98
	50	—	6,000	98
	75	—	11,000	98
	100	—	22,000	98
臨時	25以下	—	1,300	110
	30以上	—	一般用水と同額	110

(計算例)
①基本料金 520円
②従量 (超過) 料金 (20㎡ - 8㎡) × 76円 = 912円
合計 (520円 + 912円) × 1.03 = 1,474円
1か月に口径13mmで20㎡を使用した場合の新料金は1,414円。
現在の料金が1,380円ですから94円ほど高くなります。
従量料金の変更は、健全な水道事業をするためです。皆様のご協力おねがいします。

同和問題啓発シリーズ
女性の人権

【リカちゃん】
今日は、パパがお料理を作ってくれるの？
【パパ】
テレビの料理番組でやってたのを作ってみせるよ。
【おじいちゃん】
昔は、男は台所にはいるものじゃないなんて言われたものだがね。
【おばあちゃん】
そうそう、家事は女のつとめなんて言われてね。
【パパ】
そんな古い考え方をしていると、笑われるよ。
【ママ】
そうね。現代では女性も男性と同じように仕事をもったり活躍する機会が増えてきたのだから、男の人でも家事に積極的に参加して欲しいわね。
【テツオ】
ほくだって家庭科で料理を習ったんだから、手伝わせてね。

